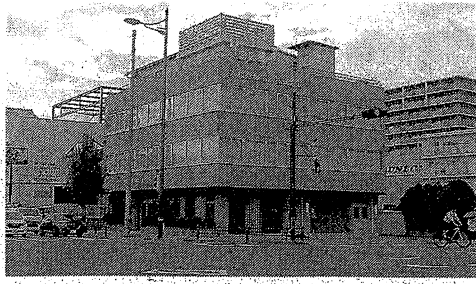


感染症の予防などで「昆虫対策」

大和無線電器

大和無線電器(京都府京都市右京区)は、小物を

中心とする家電と産機向けの電子部品の卸売



大和無線電器の外観

りを行っている。

公文雅人社長によると、米中貿易摩擦や日韓歴史問題などを巡り先行きが見通せないため、設備投資が鈍化し、電子部品は厳しいという。しかし、伸びしろはあると考えており、「営業力を強化する」(公文社長)としている。

一方、家電は比較好調だ。今夏は消費税増税前のため季節家電の販売が前倒しされたこと

とや、梅雨の影響でエアコンの販売が低迷し、量販店が小物家電に注力したことも影響しているという。同社では、増税前ぎりぎりに年賀状用途のプリンターやインクなど消耗品が動くとしている。

増税後については、駆け込み需要が限定的だったことから反動は小さいとし、年明けはオリンピック需要や新生活需要の取り込みなどに取り組んでいく考えだ。

新分野の開拓にも力を入れている。雷が落ちないようにする通常とは逆の避雷針がヒットし、病院やデータセンター、鉄道会社などで導入が進む。

また、今後注力していくのが昆虫対策だ。公文社長は「蚊などが媒介する感染症は人類最大の脅威になり得る。今後は『虫対人』の時代になる。我々が注意喚起していきたい」と力を込める。

実際に吸引式捕虫器が注目されており、ある家電量販店では数万台が売れた。「今までにない商材を発掘して、社会の課題に答えたい」(公文社長)と

をい

ている。

雷が落ちない

ようにする通常とは

逆の避雷針がヒット

し、病院やデータセン

ター、鉄道会社などで

導入が進む。

また、今後注力して

いくのが昆虫対策だ。

公文社長は「蚊などが

媒介する感染症は人類

最大の脅威になり得

る。今後は『虫対人』

の時代になる。我々が

注意喚起していき

たい」と力を込める。

実際に吸引式捕虫器

が注目されており、あ

る。今後は『虫対人』

の時代になる。我々が

注意喚起していき

たい」と力を込める。

実際に吸引式捕虫器

が注目されており、あ

る。今後は『虫対人』